

あおもり 県議会だより

平成29年6月 第290回 定例会

発行/青森県議会 編集/青森県議会議務局 〒030-8570青森市長島1-1-1 電話:017-734-9797

青森県議会ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/gikai/home.html>

青森県議会

検索

詳しくはP12へ

目次

6月定例会の概要 ▶ ①

一般質問の内容 ▶ ②

常任委員会委員紹介 ▶ ⑧

常任委員会活動状況 ▶ ⑩

ホームページ紹介 ほか ▶ ⑫

6月定例会の概要 職員の退職手当に関する条例の一部を 改正する条例案などを可決

平成29年6月第290回定例会は、6月15日に開会され、6月30日までの16日間にわたり開催されました。

初日の本会議では、「職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案」をはじめ、4件の議案及び42件の報告が上程され、三村知事から提案理由説明がありました。また、議員提出議案「青森県議会会議規則の一部を改正する規則案」の採決が行われ、採決の結果、賛成多数で可決されました。

6月21日から3日間にわたり行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、下北半島縦貫道路の整備状況と今後の取組などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。また、6月22日には、青森県監査委員の選任に係る議案が追加上程されました。

6月27日には、議案に関する

質疑が行われ、青森県県税条例の一部を改正する条例案の改正内容等について、質疑・答弁がありました。知事提出議案のうち、人事案件を除く議案4件は各常任委員会に付託され、常任委

員会は6月28日に開かれ、それぞれ審議されました。最終日の6月30日は、各常任委員会の審査内容の報告、討論が行われたのち採決が行われ、知事提出議案5件が可決されました。



開会日の提案理由説明



平成29年6月第290回定例会 一般質問



えちぜん ようえつ
越前 陽悦 議員
会 派：自由民主党
選挙区：むつ市

下北半島縦貫道路

問 下北半島縦貫道路の整備状況と今後の取組について伺う。

答 (県土整備部長) これまでに、19・5キロメートルを供用しており、現在4工区、合わせて約32キロメートルの整備を進めている。「むつ南バイパス」については、起点から国道338号交差点部までの用地取得を終え、部分供用を目指し優先的に整備を進めており、「吹越バイパス」については、年内の本格的な降雪前の供用を目指し工事を進めている。「横浜北バイパス」については、調査設計を、「横浜南バイパス」については、用地取得、改良工事等を推進していく。



下北半島縦貫道路

短命県返上

問 短命県返上に向けて、長寿社会を実現させるためには、健康づくりとがん対策が青森県の最重要課題と考えるが、県の考え方を伺う。

答 (三村知事) 働き盛り世代の死亡率改善に向けた職域と連携した健康づくりや、死因の3割を占めるがん対策について、検診の受診率向上や喫煙防止対策に重点的に取り組んできた。平成29年度からは、健康経営に取り組む中小企業等の「青森県健康経営事業所」認定のほか、大腸がんの早期発見に係る受診率の向上や検診の効果を明らかにするモデル事業、妊産婦の禁煙支援体制の強化等に取り組む。



きた きいち
北 紀一 議員
会 派：民進党
選挙区：三戸郡

高等学校教育改革に係る認識

問 青森県立高等学校教育改革推進計画(案)第1期実施計画(案)に係る知事の認識を伺う。

答 (三村知事) 未来の高校生のための教育環境づくりであるとの視点に立ち、また、未来の青森県づくりに向けて、県全体の高校教育をどうしていくことが望ましいのかを考えていくことが大切であるとの認識の下、これまでの**総合教育会議**においても、「充実した教育環境の整備」、「各地域の実情への配慮」の2つの観点の重視について、県教育委員会と共通理解を図り、県民にその必要性を理解いただけるよう説明し、意見を伺ってきたものと受け止めている。

五戸高等学校存続

問 五戸町においては、五戸高等学校と一体となって特色ある取組を進め、同校の存続を望んでいるが、こうした地元の取組やこれまで県民から寄せられた意見等を踏まえ、第1期実施計画(案)の内容を見直すべきと考えるが、県教育委員会の考えを伺う。

答 (教育長) 地区懇談会等でいただいた多くの御意見等について、教育委員会会議に報告し、充実した教育環境の整備と各地域の実情への配慮の観点から、検討を進めているところであり、また、検討を深める時間を十分確保するため、臨時の教育委員会会議を開催するなど、審議を重ねている。

用語解説

総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地方公共団体の長と教育委員会で構成し、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定、教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策等に係る協議及び調整を行う。



きくち いさお
菊池 勲 議員
会 派：青和会
選挙区：弘前市

人口減少社会への対応

問 労働力人口の減少に対応した青森県づくりに対応した取り組みなどについて伺います。

答 (三村知事) 県外への流出が多い工業高校生を対象とする県内企業とのネットワーク構築、首都圏大学との協定締結などによる情報発信の強化、県内企業における積極的なインターンシップの実施と受入態勢の構築などに取組むほか、各産業での取組として、農業分野での、JAを通じて労働力の実態調査、大幅な省力化を可能とする最先端農業機械導入の推進、建設業及び医療・福祉分野における人財の確保・定着に向けた取組などを進めている。

高等学校教育改革の目的と内容

問 青森県立高等学校教育改革推進計画における改革の目的と内容について伺う。

答 (教育長) 青森県立高等学校教育改革推進計画では、変化し続ける社会で生きていくために必要な力を育むとともに、特色ある教育活動を推進し、本県の未来を担う人財を育成することを目的としており、その実現のため、課題の発見と解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実践、社会人・職業人として自立するために必要な能力や態度の涵養(かんよう)、ICTの活用による教育活動の充実、発達障害等特別な支援を必要とする生徒への対応等に取り組んでいく。

用語解説

労働力人口の減少

本県の労働力人口(就業者+失業者)の推移を国勢調査で見ると、平成7年以降減少傾向が続いており、平成27年は66万1千人で10年前の平成17年に比較して約8万7千人、11.6%の減少となっている。

地域おこし協力隊

問 市町村の地域おこし協力隊の活用を促すため、どのように取り組んでいるのか。

答 (企画政策部長) 隊員向けの研修会の開催や受入先となる市町村向けの研修会を開催し、隊員が活動しやすい環境づくりの支援を行ってきたところであるが、今年度は、地域課題に対応した解決モデルを創出するため、首都圏の移住に関心を寄せる層への訴求力を高め、地域おこし協力隊受入れにつなげるモデル事例の創出に取り組んでいるほか、「移住受入力向上セミナー」を開催し、移住者受入れに向けた地域の機運を高めている。

創業・起業支援

問 平成28年度の創業者数が伸びているようだが、県のこれまでの支援実績と今後の取組方針について伺う。

答 (三村知事) 21あおもり産業総合支援センターや県内8市への支援拠点の設置などを行い、最初の創業支援拠点が設置された平成18年度から平成28年度までの11年間で、348名の方が多様な分野で創業に至っており、特に平成28年度の創業者数は110名と、過去最高となるなど年々増加してきている。今後は、潜在的な創業希望者のさらなる掘起こしや創業支援拠点の機能強化等に積極的に取り組む、創業・起業を一層促進していく。



くどう よしはる
工藤 義春 議員
会 派：自由民主党
選挙区：平川市

用語解説

地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域等へ住民票を移した人を、地方自治体が地域おこし協力隊として委嘱し、最長で3年、自治体が定めた地域協力活動をしながら定着を目指す制度で、隊員の報償費や活動費として、隊員1人につき国から最大で年間400万円が特別交付税措置される。



よしだ きぬえ
吉田 絹恵 議員
会 派：公明・健政会
選挙区：上北郡

だし活の推進

問 県産素材を活用しただし商品「できるだし」シリーズの販売状況について伺う。

答 (農林水産部長) 現在、家庭用が9商品、業務用が9商品販売され、家庭用については、大手量販店の賛同などにより東北や首都圏にも取扱いを広げており、本年2月末までの出荷数は約14万6,000個となっており、県の働きかけによる、葬祭事業者の香典返しとしての採用に係る出荷数も約2万4,000個に上っている。業務用である学校等向けの出荷数約1万5,000個を加えた出荷総数は、約18万5,000個となっている。



「できるだし」ロゴマーク

新学習指導要領

問 平成29年3月に告示された新学習指導要領における小学校外国語教育の概要について伺う。

答 (教育長) 現行学習指導要領では、第5学年及び第6学年において、外国語活動がそれぞれ年間35単位時間実施されているが、新学習指導要領では、第3学年及び第4学年の中学年では外国語活動が、第5学年及び第6学年の高学年では教科としての外国語が導入されることとなっている。中学年では、聞くこと、話すことを中心とした外国語活動を年間35単位時間、高学年では、段階的に文字を読むこと、書くことを加え、年間70単位時間行うこととなっている。



さいとう なおひと
齊藤 直飛人 議員
会 派：自由民主党
選挙区：北津軽郡

農業の労働力不足

問 農業の労働力不足について県の対応を伺う。

答 (農林水産部長) 昨年度、モデル農協を対象に実施した、りんご園の労働力不足の実態調査に加え、今年度は、県内の全農協を対象に同様の調査を行い、地域や営農形態ごとに実態を把握し、労働力不足を補うための方策を検討し、また、労働力の軽減対策として、自動走行トラクターなど最先端の農業機械の導入を促進するための実用性や経済性に関する情報提供などを行うほか、部内に労働力不足対策プロジェクトチームを設置し、総合的な検討を進めている。



JAによる農業労働力不足対策協議会の様子

教育改革推進計画 見直し

問 青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画(案)に関する地区懇談会等で県民から様々な意見が寄せられているところであり、本年7月の計画策定期期を見直す考えはないか。

答 (教育長) 第1期実施計画初年度である平成30年度に高等学校に入学する現在の中学校3年生は、進路選択に向け、この夏季休業中に目指す高等学校の体験入学等を行うことから、見直しを持って安心して進路選択できるように、7月中旬に第1期実施計画を策定したいと考えている。



なるみ けいいちろう
鳴海 恵一郎 議員
会 派：自由民主党
選挙区：黒石市

第1期実施計画の周知

問

青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画の策定後、児童生徒に対しその内容についてどのように周知するのか。

答

(教育長)
県立高等学校教育改革の基本的な考え方等については、これまでも「教育広報あおもりけん」を活用し、県内全ての児童生徒やその保護者へ情報提供を行うなど努めてきたものであり、第1期実施計画策定後においても、教育広報あおもりけんを活用するほか、今年度、県立高等学校入学者選抜を受ける中学校3年生には、三者面談等において、正確な情報が共有されるよう、各中学校への速やかな情報提供に努めていく。

第2期実施計画の取組

問

青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画の策定に当たり、県教育委員会ではどのように取り組むのか。

答

(教育長)
第1期実施計画(案)の策定に当たっては、基本方針策定後、地区意見交換会を開催し、あらかじめ地区の具体的な学校規模・配置等について御意見を伺った上で公表し、パブリック・コメントの実施、地区懇談会の開催等を通して、幅広く情報提供するとともに御意見を伺いながら取り組んでいるところであり、第2期実施計画の策定に当たっても、同様に多くの方々の御意見を伺い、御理解をいただきながら進めたい。



教育広報あおもりけん

若者の就職、定着

問

若者の就職、定着に向け、た県の取組の考え方にどうして伺う。

答

(三村知事)
本県経済を担う若者の仕事づくりと、県内就職・定着、そして県外からの還流促進が極めて重要と考えている。若者の仕事づくりについては、本県の強みを生かした産業振興や戦略的な企業誘致、創業・起業支援等に積極的に取り組み、県内就職・定着と県外からの還流促進については、工業高校生を中心に、県内の仕事や企業の情報等を積極的に発信するほか、県外に進学・就職した若者についても、県内企業による積極的なインターンシップの実施等に努めている。



たかはし しゅういち
高橋 修一 議員
会 派：自由民主党
選挙区：青森市

自殺対策

問

自殺対策基本法の改正に伴い義務付けられた自殺対策計画の策定を含め、県は今後どのように自殺対策に取り組んでいくのか。

答

(健康福祉部長)
この計画は、関係部局や地域と連携した総合的な内容であることが求められており、県ではこれを踏まえ、青森県自殺対策計画策定委員会を設置し、県計画の策定を進めるとともに、市町村計画の策定支援として、市町村長を対象とした自殺対策トップセミナーを開催することとしている。また、県計画については、これまで重点的に実施してきたハイリスク者支援についても盛り込み、拡充を図ることとしている。



自殺対策トップセミナーの様子

県産食材の利用拡大

問 学校給食における県産食材の活用に向けた県教育委員会の取組について伺う。

答 (教育長) 地域の産業や文化等への理解と関心を深めるなどの教育的効果が期待できるため、県教育委員会では、学校給食への県産食材の活用推進とともに、食育の充実を図っている。これまでも、学校給食における県産食材の利用率向上に向け、様々な取組を行っているが、今年度は、つながる食育推進事業において、家庭、地域の生産者や関係機関・団体等と連携して、学校給食を活用した実践的な食育の取組を行うこととしている。

グリーン・ツーリズムの推進

問 本県におけるグリーン・ツーリズムの取組状況について伺う。

答 (農林水産部長) 県では、農山漁村余暇法が制定された平成6年以降、グリーン・ツーリズムの取組を推進してきた。代表例として、平川市の農業法人が、農家の「蔵」巡りとりんご収穫体験等

を組み合わせて、一度に500人規模の受入れを行っているほか、南部町の受入協議会では、さくらんぼなどの収穫体験と農家民宿を結び付けて、国内外から多くの教育旅行生等を受け入れている。県としては、地域の農業の特徴や資源を生かし、農山漁村の活性化に努めていく。



やまぐち たきじ
山口 多喜二 議員
会 派:自由民主党
選挙区:平川市

用語解説

グリーン・ツーリズム

緑豊かな農山漁村でゆっくりと滞在し、訪れた地域の人々との交流を通じて、その自然、文化、生活、人々の魅力に触れ、農山漁村でさまざまな体験などを楽しむ余暇活動。



す わ ますいち
諏訪 益一 議員
会 派:日本共産党
選挙区:青森市

憲法9条の改正

問 憲法9条に自衛隊を明記した新憲法を2020年に施行したいとの安倍首相の発言は、専守防衛を逸脱し、海外への武力行使に道を開こうとするものであると考えるが、知事の見解を伺う。

答 (三村知事) 憲法9条の改正議論は、国政の場で国民的な議論を深めていくことが重要であると考えている。なお、日本国憲法が持つ平和にかけられる理念は、非常に重要な意義があるものと考えており、国民の安全と世界の恒久的な平和を願い、その実現を目指していくことは、全ての国民共通の思いであると信じているものである。

教職員の多忙化解消

問 教職員の多忙化解消に向けた市町村教育委員会及び県立学校の取組状況とその成果について伺う。

答 (教育長) 平成28年度の調査では、定時退校日やノー部活デー等の設定により、長時間労働の改善に向けた意識啓発につながった事例や、各分掌業務で廃止・縮小できるものを一覧にし、可能なものから見直すことで業務の縮減を図っている事例などが報告されている。県教育委員会では、当該調査結果を市町村教育委員会及び県立学校へ周知し、引き続き、多忙化解消に向けた取組を進めるよう依頼したところである。

一般質問の内容をはじめ、本会議の内容は青森県議会のホームページから動画を配信しています。(本紙12ページもご覧ください。)



ふじかわ とも のぶ
藤川 友信 議員
会 派：自由民主党
選挙区：八戸市

八戸階上線の道路整備

問 ●三陸復興国立公園指定後の八戸階上線狭隘（きょうあい）区間の解消に向けた取組について伺う。

答 （県土整備部長）
地形改変や立木伐採を伴う大規模な改築工事を実施した場合、国立公園の景観への影響が懸念されることから、急カーブ箇所の視距改良や部分拡幅が妥当と考えている。今後、交通需要の高い区間や、大型車のすれ違いが困難な区間など、各区間の状況を踏まえながら、整備の優先順位や手法等について、地元の八戸市や階上町と協議していきたいと考えている。

用語解説

三陸復興国立公園

種差海岸階上岳地域は、岩礁や砂浜、海岸植生など変化に富んだ海岸風景や階上岳の優れた眺望を有し、ウミネコ等の海鳥類の重要な生息地となっていることが評価され、平成25年5月、東日本大震災の被災地の復興に貢献するための三陸復興公園に指定された。

乳幼児医療費助成

問 乳幼児医療費助成制度の県内市町村の現状について伺う。

答 （健康福祉部長）
各市町村がそれぞれの実情に応じて給付対象等を定めて実施しているが、多くの市町村で、給付対象の拡大、所得制限の緩和及び一部負担金の免除を実施し、乳幼児の医療費助成の拡充を図っている。なお、一部負担金については、小学校未就学児までは全市町村で一部負担金なしとなっている。

青森県基本計画の推進

問 青森県基本計画未来を変える挑戦の残りの計画期間において、戦略プロジェクトの推進に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 （三村知事）
「地域で経済を回す」という視点をしっかりと持ちながら、最重要課題である人口減少の克服に向けて、移住・定住の促進、交流人口の拡大、子どもを産み育てやすい環境づくりなどに取り組むとともに、短命県返上に向けた予防の重視と保健・医療・福祉体制の充実・強化、農林水産業への更なる成長産業化などを進め、3つの戦略プロジェクトを、攻めの姿勢で更に加速させる。

台湾からの誘客拡大

問 空路を活用した観光交流人口の増大について、台湾からの誘客拡大に向けた県の取組について伺う。

答 （三村知事）
昨年の県内の外国人延べ宿泊者数は、台湾が全体の約3割と最も多いなど、台湾は本県にとって最も重要な市場であると認識しており、航空会社及び旅行会社に対する国際チャーター便の運行、陸路、海路、空路を組み合わせた、いわゆる立体観光による多彩な旅行商品の造成の働きかけを行ったほか、青森スキー商品の定番化に向けた県内スキー場の知名度向上、航空会社と連携した台湾企業の研修旅行の誘致などに取り組んでいく。



く どう のり やす
工藤 慎康 議員
会 派：自由民主党
選挙区：上北郡



台湾における
青森プロモーションの様子

委員(議員)を紹介します。

総務企画危機管理委員会

所管事項




総務部、企画政策部、危機管理局、出納局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項

委員長	副委員長	委員					
							
こひやま よしのり 小椋山 吉紀 会 派：自由民主党 選挙区：三沢市 当選回数：3回	てらだ たつや 寺田 達也 会 派：自由民主党 選挙区：五所川原市 当選回数：2回	たなぶ さだお 田名部 定男 会 派：民進党 選挙区：八戸市 当選回数：6回	もりうち のぼる 森内 之保留 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：5回	くどう のりやす 工藤 慎康 会 派：自由民主党 選挙区：上北郡 当選回数：3回	はたけやま けいいち 畠山 敬一 会 派：公明・健政会 選挙区：八戸市 当選回数：3回	こむら かずお 古村 一雄 会 派：無所属 選挙区：青森市 当選回数：3回	ふじかわ ともぶ 藤川 友信 会 派：自由民主党 選挙区：八戸市 当選回数：2回

環境厚生委員会

所管事項

環境生活部、健康福祉部及び病院局の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員				
						
くしびき ゆきこ 櫛引 ユキ子 会 派：自由民主党 選挙区：五所川原市 当選回数：3回	きくち けんたろう 菊池 憲太郎 会 派：自由民主党 選挙区：むつ市 当選回数：2回	あべ ひろえつ 阿部 広悦 会 派：自由民主党 選挙区：南津軽郡 当選回数：6回	くまがい ゆういち 熊谷 雄一 会 派：自由民主党 選挙区：八戸市 当選回数：4回	いちのへ ふみお 一戸 富美雄 会 派：青和会 選挙区：青森市 当選回数：2回	くどう よしはる 工藤 義春 会 派：自由民主党 選挙区：平川市 当選回数：2回	まつ たまさる 松田 勝 会 派：日本共産党 選挙区：八戸市 当選回数：1回

農林水産委員会

所管事項

農林水産部、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
おかもと ゆきと 岡元 行人 会 派：自由民主党 選挙区：弘前市 当選回数：4回	やまぐち たきじ 山口 多喜二 会 派：自由民主党 選挙区：平川市 当選回数：1回	しみず えつろう 清水 悦郎 会 派：自由民主党 選挙区：八戸市 当選回数：5回	くどう かねみつ 工藤 兼光 会 派：自由民主党 選挙区：西津軽郡 当選回数：4回	やまや きよふみ 山谷 清文 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：3回	あんどう はるみ 安藤 晴美 会 派：日本共産党 選挙区：弘前市 当選回数：3回	さいとう なおひと 齊藤 直飛人 会 派：自由民主党 選挙区：北津軽郡 当選回数：2回	たなか みつる 田中 満 会 派：民進党 選挙区：八戸市 当選回数：1回

青森県議会常任委員会の

商工労働観光エネルギー委員会

所管事項 商工労働部、観光国際戦略局、エネルギー総合対策局及び労働委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
たかはし しゅういち 高橋 修一 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：3回	たにかわ まさと 谷川 政人 会 派：自由民主党 選挙区：弘前市 当選回数：1回	た なかじゅんぞう 田中 順造 会 派：自由民主党 選挙区：十和田市 当選回数：7回	す わ ますいち 諏訪 益一 会 派：日本共産党 選挙区：青森市 当選回数：6回	みつはし かずみ 三橋 一三 会 派：自由民主党 選挙区：つがる市 当選回数：4回	い がき しんいち 伊吹 信一 会 派：公明・健政会 選挙区：青森市 当選回数：4回	なる み けいいちろう 鳴海 恵一郎 会 派：自由民主党 選挙区：黒石市 当選回数：2回	きくち いさお 菊池 勲 会 派：青和会 選挙区：弘前市 当選回数：1回

文教公安委員会

所管事項 教育委員会及び公安委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員				
						
えびさわ まさかつ 蛭沢 正勝 会 派：自由民主党 選挙区：上北郡 当選回数：2回	はなだ えいすけ 花田 栄介 会 派：自由民主党 選挙区：青森市 当選回数：2回	なりた かつのり 成田 一憲 会 派：自由民主党 選挙区：五所川原市 当選回数：8回	きた きいいち 北 紀一 会 派：民進党 選挙区：三戸郡 当選回数：6回	まる い ゆたか 丸井 裕 会 派：自由民主党 選挙区：十和田市 当選回数：4回	かわむら さとる 川村 悟 会 派：青和会 選挙区：弘前市 当選回数：3回	よこ はまつとむ 横浜 力 会 派：自由民主党 選挙区：むつ市 当選回数：2回

建設委員会

所管事項 県土整備部及び収用委員会の所管に属する事項

委員長	副委員長	委員					
							
ぬま お けいいち 沼尾 啓一 会 派：自由民主党 選挙区：上北郡 当選回数：2回	さいとう ちかし 齊藤 爾 会 派：自由民主党 選挙区：弘前市 当選回数：2回	かみやま ひさし 神山 久志 会 派：自由民主党 選挙区：東津軽郡 当選回数：8回	えいぜん ようえつ 越前 陽悦 会 派：自由民主党 選挙区：むつ市 当選回数：5回	やまだ さとる 山田 知 会 派：民進党 選挙区：八戸市 当選回数：4回	なつほり こういち 夏堀 浩一 会 派：自由民主党 選挙区：三戸郡 当選回数：3回	せきりょう 関 良 会 派：青和会 選挙区：青森市 当選回数：2回	よしだ きぬえ 吉田 絹恵 会 派：公明・健政会 選挙区：上北郡 当選回数：2回



常任委員会の活動状況

総務企画危機管理委員会

総務企画危機管理委員会は、5月30日から31日にかけて、中南・西北地区において調査を実施しました。

黒石市では、中南地域着地型観光魅力発信事業のうち、黒石まち歩きツアーについて説明を受けた後、こみせ通り周辺のまち歩きを体験しました。

弘南鉄道では、利用促進に係る取組について説明を受け、質疑応答・意見交換を行いました。

つがる市では、米陸軍車力通信所の案内により、車力地区にあるXバンドレーダーを視察しました。

また、つがる市の基地対策について説明を受け、質疑応答・意見交換を行いました。

中泊町では、町役場新庁舎の建設について説明を受けた後、防災拠点機能を充実させた新庁舎を視察しました。



弘南鉄道の質疑応答の様子

環境厚生委員会

環境厚生委員会は、6月1

日から2日にかけて、西北・中南地区において調査を実施しました。

深浦町の十二湖エコ・ミュージアムセンター湖郷館

では、現在の運営状況について

説明を受け、質疑応答後、館内を視察しました。

五所川原市のつがる総合病院では、地域医療の取組について説明を受け、質疑応答後、院内を視察しました。

西目屋村の白神山地ビジターセンターでは、現在の運営状況について説明を受け、質疑応答後、館内を視察しました。

弘前市の特別養護老人ホームサンアツプルホームでは、自立支援介護の取組について説明を受け、質疑応答後、施設内を視察しました。



白神山地ビジターセンターの施設見学

農林水産委員会

農林水産委員会は、5月25日から26日にかけて、西北・中南地区において調査を実施しました。

深浦町の株式会社あおもり海山では、地域資源であるクロマグロの加工・販売の状況等について説明を受け、質疑応答後、加工センター内を視察しました。

弘前市の国立大学法人弘前大学では、青森県におけるりんごの輸出状況とその課題や、グローバルGAPの概要及び取得に向けた課題等について説明を受け、質疑応答を行いました。

西目屋村の白神2期地区中山間地域総合整備事業の現場では、同事業の概要について説明を受け、現地状況を視察しました。

弘前市のつがる弘前農業協同組合では、りんご輸出拡大に向けた取組や、ももの高品質生産に向けた取組について説明を受け、質疑応答を行いました。



白神2期地区中山間地域総合整備事業現場の視察

商工労働 観光エネルギー委員会

商工労働観光エネルギー委員会は、5月30日から31日にかけて、中南・西北地区の調査を実施しました。

青森県立弘前高等技術専門校及び青森県立障害者職業訓練校では、職業訓練の取組について説明を受け、意見交換をするともに、校舎内を視察しました。ブナコ株式会社西目屋工場では、ブナ材を利用した製品の製造について説明を受け、意見交換をするともに、工場内を視察しました。

一般社団法人ブナの里白神公社津軽白神ツアーでは、ダムツーリズム推進の取組について説明を受け、意見交換をするともに、水陸両用バスに乗車してダムレイクツアーの調査を行いました。



太宰治疎開の家の視察

太宰治疎開の家では、施設公開までの経緯や地域観光の取組について説明を受け、館内を視察しました。

文教公安委員会

文教公安委員会は、5月30日から31日にかけて、東青・上北・下北地区において調査を実施しました。

青森県警察本部機動隊では、災害時等における機動隊の活動状況について説明を受け、質疑応答後、施設内を視察しました。

国史跡小牧野遺跡では、文化財の保護・管理の取組について説明を受けながら、縄文の学び舎・小牧野館及び小牧野遺跡を視察しました。

横浜町立横浜小学校では、地中熱ヒートポンプ冷暖房システムを採用した学校施設等について説明を受け、質疑応答後、校内を視察しました。

大間警察署では、管内の概況等について説明を受け、質疑応答後、署内を視察しました。



青森県警察本部機動隊における視察

建設委員会

建設委員会は、6月1日から2日にかけて、東青・下北地区における調査を実施しました。

東青地区では、東青地域県民局より概況説明を受けた後、青森港湾湾環境整備事業、天田内川総合流域防災事業及び新青森県総合運動公園整備事業（いずれも青森市）の現地調査を行い、それぞれ質疑応答がありました。

また、下北地区では、下北地域県民局において概況説明を受けた後、国道279号むつ南バイパス道路改築事業、国道279号二枚橋バイパス道路改築事業及び大畑川総合流域防災事業（いずれもむつ市）の現地調査を行い、それぞれ質疑応答がありました。



大畑川総合流域防災事業の現場の視察

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/gikai/home.html>

青森県議会ホームページをご紹介します。

青森県議会 **検索**

注目情報
定例会の予定表、常任委員会の開催予定などお知らせを掲載しています。

議会広報紙
「あomor県議会だより」の発行について
これまでに発行した「あomor県議会だより」の電子版を掲載しています。

議長からのメッセージ
議長あいさつ、記者会見の内容を掲載しています。

議員の紹介
県議会議員を五十音順、選挙区別、会派別等でご紹介しています。

県議会の活動
開催日程、提出議案、議決結果、県議会トピックスなどを掲載しています。

県議会のしくみ
県議会の役割や権限、構成等について、ご紹介しています。

県議会から皆さまへ
議会の傍聴方法、請願・陳情の方法その他の情報提供をしています。

会議録の検索と閲覧
本会議の会議録、委員会等の記録の検索と閲覧ができます。

本会議及び特別委員会等の中継について
本会議及び特別委員会等の模様をインターネットでご覧いただけます。

第290回定例会で可決された議案（6件）

条例関係（4件）

- 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案
- 青森県県税条例の一部を改正する条例案
- 青森県廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案
- 青森県知事の権限に属する事務の事務処理の特例に関する条例及び青森県県営住宅条例の一部を改正する条例案

人事関係（1件）

- 青森県監査委員の選任の件

議員が提出した議案（1件）

- 青森県議会会議規則の一部を改正する規則案

第290回定例会で可決された議員が提出した議案の内容

規則

○青森県議会会議規則の一部を改正する規則案

（改正の趣旨）

一般質問において、再質問から一問一答方式を導入するため、青森県議会会議規則（昭和31年11月青森県議会告示第2号）第61条第3項に規定する質問の回数の制限を廃止する。

（改正の内容）

第61条第3項を削る。

県議会からのお知らせ

○平成29年9月第291回定例会について

第291回定例会は、平成29年9月21日（木）に開会し、10月10日（火）に閉会する予定です。詳細な日程については青森県議会HPでお知らせします。

○県議会に関するご意見・お問合せについて

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課
電話 017(734)9797(直通)